

校長室だより 第2号

素晴らしい修学旅行でした！

5月10日（水）～12日（金）の3日間、修学旅行に行ってきました。昨年度から沖縄方面への修学旅行となり、本年は2回目となりました。今年度は本島と伊江島を訪れました。本当に天気に恵まれ日差しが熱く感じるような三日間でした。例年、沖縄地方は5月上旬～中旬頃から梅雨に入るようで、最終日の次の日に梅雨入り宣言が出て土曜日は豪雨であったようです。雨にあわず、予定されたスケジュールも全て順調にこなせました。これもきっと3年生の思いが天に通じたのでしょう。



10日朝5時半に学校に集合し、バスで伊丹空港に移動し、10時半には那覇に到着、まぶしいくらいの日差しが歓迎してくれました。すぐに平和学習を行いました。まずはひめゆりの塔の前で志半ばで亡くなった犠牲者を追悼、資料館の見学、その後各クラス別にガマを見学しました。さらに平和祈念公園で平和式典を行いました。平和の尊さと戦争の悲惨さを心に刻んでくれたと思います。その後、本部町で宿泊。学年で考えたレクリエーションも盛り上がりました。

翌朝、フェリーで伊江島に渡りました。伊江島では民泊体験が目的の一つで、各グループでそれぞれの民家での宿泊となりました。船が岸壁では近づくと受け入れ先の方が手を振って待っていてくれ歓迎してくれました。入村式の後、ビーチでウェットスーツに着替えスノーケルとバナナボートのマリ



ン体験。それが終わると各家庭で沖縄の文化に触れる体験となりました。各民宿で宿泊後翌朝、港に帰ってきた生徒の顔は全員輝いていました。そしていよいよ出港の時間となりました。岸壁で手を振る民家の方と船から手を振る生徒たちの間には、たった一日の交流でしたが強いきずなが結ばれているかのような感動的な別れの場面となりました。地元の方との交流により沖縄の人と文化を肌で感じ取ってくれたことでしょう。

12日の最終日は班別行動で、美ら海水族館見学から那覇へ。首里城を見学した後、国際通りでの自由行動。本当にあつという間の三日間でしたが、たくさんのお土産とともに「最高の修学旅行」という思い出を持って帰ってきてくれたと確信しています。この貴重な体験を一生忘れないでください。そして、今後の学校生活に活かしてください。

私はこの修学旅行はとても素晴らしいものであったと喜んでいきます。集団活動のルールを守るだけでなく、お互いに譲り合い、周りの人に気配りができる思いやりを持った生徒たちであると改めて実感しました。また、周りのいろいろな人たちの





おかげでこの修学旅行が実施できたことも忘れないでください。最後に3年生担当の先生方、ご苦労様でした。そして、素晴らしい修学旅行を創りあげてくれた3年生の皆さん、ありがとうございました。

平成29年5月19日

岸和田市立葛城中学校
校長 瀧 俊彰